

学校通信 耕



河北町立谷地西部小学校

令和8年2月27日 発行

No. 336



学校 HP

教育目標 一人ひとりが 自分らしく育つ学校づくり
みんなの合言葉「やってみよう、かかわろう、感じよう・考えよう」

日の光が少しずつ春めいてきました。2月23日に閉幕したミラノ・コルティナオリンピックでは、技や記録に挑戦する若い選手たちの姿に感動と勇気をもらいました。怖さを乗り越え、「やってみよう」と一歩踏み出す事の大切さを感じました。やってみなくては見えない景色がそこにあるのだらうと思います。

進級・卒業まで、残りわずかとなりました。新しい環境への不安もあるでしょうが、一歩踏み出す子供たちの勇気を信じ、限られた時間を職員全員で見守り支えていきます。

成長が伝わった授業参観 ～ご参観ありがとうございました～



2月13日は今年度最後の授業参観。初めは、全校合奏を聴いていただきました。1、2年生はトーンチャイムで「きらきら星」「オーラリー」の演奏です。一人一人が責任をもって自分の音を出さなければなりません。緊張感が伝わり、はらはらしながら聴き入りました。3～6年生はいろいろな楽器をつかって「名探偵コナンのテーマ」の合奏です。子ども達の真剣な表情と、それを見守る保護者の方の温かいまなざしが印象的でした。その後は、各教室での授業参観です。ひらがな、かたかな、数字や漢字、たし算引き算。たくさんの事を身に付けた1年生。みんなで協力して勉強を進めることが得意な2年生。自分たちで授業を進めることができるようになった3、4年生。今回の授業参観は、担任が6年生に関わる時間が多かったのにも関わらず、自分たちだけで学習発表を進めることができた5年生。6年生は、おうちの方への感謝の気持ちを伝える会。様々な思い出がよみがえり、感動いっぱいの時間となりました。

学年懇談会では、担任と保護者の皆さんとで、子ども達の成長を語らうことができ、大変有意義な時間となりました。お忙しい中、ご参観いただきありがとうございました。

1、2年生は、2月3日に、朝日少年自然の家で**チューブ滑り**を楽しみました。雪景色の中、歓声を上げて滑る子ども達。長いコースを滑った後は、汗をかきながら斜面を登らなければなりません。何往復も滑ったり上ったりして最後はへとへとに。帰りのバスではほとんどの子どもが眠ってしまうほど充実していたようです。お忙しい中、お手伝いいただいた保護者の皆様ありがとうございました。



～交通指導員さんへ感謝を伝える会～

2月10日に、いつも子ども達の登校を見守ってくださっている交通指導員さん(田宮友和さん・工藤真二さん)へ、感謝の気持ちを伝える会を行いました。猛暑の夏も、吹雪の冬も、熊情報が流れた時も、子ども達の様子を気にかけてくださいました。子ども達からは、感謝の気持ちを込めた色紙と歌「ありがとうの歌」、花束をプレゼントしました。選んだ花は、子ども達が花言葉を調べ、花屋さんに特別に作ってもらったものです。感謝の気持ちを伝えるとともに、事故に合わないことや安全に気をつけて登下校することをあらためて約束しました。



6年生は、卒業書写に取り組んでいます。書初めの指導でもお世話になった朝鳥先生を講師に、自分で選んだ漢字一文字を和紙に書いています。和紙は、全校生で育てた紅花から紅餅を作り、自分で染めた世界で一枚だけのもの。選んだ文字はそれぞれ、『考・絆・総・結・慎・道・自』の7文字。どれも納得の選択です。6年生が一文字書くごとに、卒業生になっていくように感じ



前職員の村山先生を招いて、複式学級の指導について語り合う「学びカフェ」を行いました。他校の先生も参加して下さい、とても有意義な学びとなりました。



3年生は、社会科の時間に遊蔵を見学しました。「これ、紅花の種を採るときに使ったよ。」経験と知識が結びついて、深い学びになっていきます。

**学校だよりは谷地西部小 HP でもご覧いただけます。また、子ども達の日々の様子は、HP 内の学校ブログで紹介しています。「耕」タイトルの右端 QR コードからどうぞ！
登下校時の見守りや声かけに感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。**